

子育て歯科

～歯並びのよい子に育てるために～



(公社)日本歯科医師会

常務理事 倉 治 ななえ

2012年に告示された「健康日本21（第2次）」では、歯・口腔の健康は、健康寿命の延伸並びに、がんや糖尿病などの生活習慣病の発症予防と重症化予防などを実現し、国民の健康増進を形成する基本要素のひとつに位置づけられました。日本歯科医師会は、日本歯科総合研究機構や8020推進財団等による多くの疫学研究の結果・分析等からも、歯と口が健康な方は健康寿命も長く、認知症になりにくいことが裏付けられてきていることを国民に広報する様々な施策をとり、超高齢社会における歯科医療の重要性を強く訴えているところです。

80歳まで元気で、そして人生の最後まで自分の口から食べ物を食べていただくためのスタートこそが、乳幼児期からの歯と口の健康づくりに他なりません。

クリニックにおいては開業して31年となり、その間、わが子の子育てと臨床を同時に経験したことで、子育てと、子どもの歯と口の健康には深い関係があることを実践から学びました。人は、だれでも健康になれる力をもっています。生まれたばかりの赤ちゃんや成長途中の子どもたちが、健康になる力を最大限に発揮できる子育てや生活習慣を長年研究し、「子育て歯科」と名付けて診療室で数多く指導してまいりました。

「子育て歯科」の基本であるむし歯予防の取組みでは、1997年から9回にわたりフィンランドの予防歯科研修に参加して、日本のお母さま方にも受け入れられる予防を学びました。その結果わかったことは、むし歯予防において、スタートする時期は早ければ早いほどよく、生まれてすぐよりも、さらにそれ以前のお腹の中にいる時こそ、子どものむし歯予防を開始する最適の時期であるということも実感いたしました。このことが現在、取り組み始めた「マタニティ歯科」を考えるきっかけとなりました。

また若いご両親に、乳幼児期からの歯みがきを指導するものの、適切な道具が日本では不足していると感じ、ベビーメーカーと協力して、自分磨きに適したステップ歯ブラシを監修、仕上げ磨き歯ブラシは自ら会社を作ってオリジナル歯ブラシの開発も行っています。これらはすべて、出来るだけ多くの子どもたちが、歯みがき好きになることを願って開発したものです。これらの道具は、他メーカーにも広がり今ではベビー売り場に、多数の安全な赤ちゃん用自分磨き歯ブラシが売られるようになりました。

このように歯みがきギライのお子さんを減らし、喜んで歯みがきをする子どもたちが増えることが、地域のむし歯予防に貢献するものと考えていましたが、昨今では多くのアンケートなどから、ご両親の関心が、むし歯予防から歯並びや噛み合わせへと移ってきており、保護者の希望もあって、歯並びのよい子に育てる生活習慣の指導にも力を入れるようになりました。本講演では、歯並びのよい子に育てる生活習慣について、詳しくご紹介させていただきます。これまでの臨床経験から得た子どもたちへの様々なアプローチや工夫のほか、母親目線の子育て論にも触れたいと思います。

倉治 ななえ (くらじ ななえ) 昭和29年10月8日生まれ

医療法人 社団 仁慈会

クラジ歯科

住 所：〒143-0012 大田区大森東1-35-4-101

T E L：03-3766-4184

テクノポートデンタルクリニック

住 所：〒144-0035 大田区南蒲田2-16-1 テクノポートカマタ2F

T E L：03-5703-5582

歯学博士

- '79年 日本歯科大学卒
- '79~81年 日本歯科大学補綴学教室第2講座助手
- '83年 クラジ歯科開設 (現在院長)
- '89年 テクノポートデンタルクリニック開設
- '03年 Dr. NANA 予防歯科研究所設立 (代表)

現在

- 日本歯科医師会常務理事
- 日本歯科大学附属病院臨床教授
- 日本フィンランドむし歯予防研究会副会長
- 日本アンチエイジング歯科学会理事 (認定医)
- 東京都大田区学校保健会副会長

主な著書：

- 「子育て歯科」(デンタルフォーラム社)
- 「キレル理由は歯にあった」(K S S 出版)
- 「はじめての歯みがきレッスン」(P H P 研究所)
- 「子どもの歯をじょうぶにきれいに」(主婦の友社)
- 「きれいな歯をつくる～大人のためのデンタル・ブック」(大泉書店)
- 「歯並びのよい子に育てるために～子育て歯科医からお母さんへ」(わかば出版)
- 「歯がいい人はボケにくい」(角川 S S C 新書)
- 夢は矯正いらず「子育てできれいな歯並びを！」(主婦の友社)
- 「マタニティ歯科外来～命を育む女性の口腔保健のために～」(わかば出版/監修・共著) ほか

ホームページ

「Dr ななえの予防歯科」<http://www.drnananae.net>

顧問・開発商品等

- ・ '00年より (株)ピジョン「親子で乳歯ケア」シリーズ顧問
- ・ '03年「Dr.NANA Five Step」5段階ベビー歯ブラシを開発 (現在、高島屋各店で販売中)
- ・ '97年より現在まで計9回「フィンランドむし歯予防研修 IIPD (International Institute of PreventiveDentistry)」参加



歯科の世界はこんなに面白い 「口腔機能から食育、そして小児歯科診療まで」

国立モンゴル医科大学 客員教授
(前 岡山大学病院小児歯科 講師)

岡崎好秀

みなさま！「現代社会における成功」って、何だと思えます…？

私は、「楽しく・有意義に仕事をしながら食べていける」ことだと思えます。

歯科界は、以前と比べ厳しい状況にあります。

でも“私たちは、楽しく・有意義に・そして人のためになることをしながら食べていける数少ない仕事”の一つであるように思います。

他の職種を見てください。楽しそうに仕事をしている方は、どれほどいるでしょう？

そういう意味において、“歯科医療従事者は恵まれた仕事”だと思えます。だから、この仕事につけたことに感謝しなくてはならないと思うのです。

でも毎日、狭い？診療室で小さな歯ばかり見ていると、自分のしている仕事の持つ意味が見えなくなりがちです。

…ということで、今日は口腔機能や食育、そして小児歯科臨床にまつわる深いイイ話、元気になる話、そして明日から役立つ話を交えながら、歯科医療の持つ意味について一緒に考えたいと思えます。

主な内容

- 1：10円玉の価値
- 2：「リタイア前に行っておけばよかった」後悔ベスト4とは？
- 3：この18歳の少年は…
- 4：エッセンとフレッセン
- 5：婦人科病棟、早くガスを出す方法とは？
- 6：攻めの口腔ケア・守りの口腔ケア
- 7：泣きの予防も予防の一つ
- 8：“患”の字は、心に串が刺さると書く
- 9：子どもみずからチェアーに上がらせる方法
- 10：呼吸を作る
- 11：PMTTCは、治療の練習？
- 12：私メッセージ・あなたメッセージ
- 13：口に入る前の食育・入った後の食育
- 14：野生のサル、最初に食べるのは？
- 15：何故口が開くのか？
- 16：前歯を使うということ

【略 歴】

国立モンゴル医科大学歯学部 客員教授 岡崎好秀

<http://leo.or.jp/Dr.okazaki/> (口の中探)

e-mail:okazaki@cc.okayama-u.ac.jp

1978年 愛知学院大学歯学部卒業

大阪大学歯学部小児歯科勤務

1984年 岡山大学病院 小児歯科 講師 (歯学博士 岡山大学)

2013年4月 国立モンゴル医科大学 客員教授 (現在に至る)

専門

小児歯科・障がい児歯科・健康教育

所属学会等

日本小児歯科学会：指導医

日本障害者歯科学会：認定医 評議員

日本口腔衛生学会：認定医 評議員

禁煙科学会：学術委員, 国際歯科学士会 (ICD) 会員

主な著書：

①子どもを泣かさない17の裏ワザ クインテッセンス出版

②動物おもしろ カミカミうんち学 少年写真新聞社

③教えて恐竜 ボク達の大切な歯 少年写真新聞社

④動物たちのよい歯甲子園 東山書房

⑤歯科医から見た食育 東山書房

⑥謎解き口腔機能学 クインテッセンス出版

⑦ようこそ！歯のふしぎ博物館へ 大修館書店

⑧泣かずにすませる小児歯科診療 松風

⑨楽しさ100倍保健指導 クインテッセンス出版

⑩なるほど ザ 保健指導 クインテッセンス出版

⑪口の中探検 上・下巻 (松風刊) 大修館書店 他 多数

DVD シリーズ：

もっと歯を大切にしようよ！全5巻

農山漁村文化協会 第1巻恐竜は語る歯と何か？ 他



日常生活を豊かにする各界著名人の 「声」の技法

朝日大学経営学部・早稲田大学国際情報通信研究センター

藤野良孝

職場で苦手な上司とコミュニケーションをとらなければならないとき。重要な会議のプレゼンで、説得力とインパクトを与えなければならないとき。患者に治療を行う際、ガチガチに緊張してしまうとき。

「各界で活躍している著名人のように、ここ一番で集中して最高のパフォーマンスを発揮する技法があったら、どれほど楽なことか」と思ったことが一度はあると思います。実は、それを可能にする技法があります。しかも、たった「ひと声」発するだけでいいのです。

みなさんもよく知っている、アップル社CEOの故スティーブ・ジョブズ氏がプレゼンテーション中に叫ぶ「ブーン」、卓球の福原愛選手がスマッシュを決めたときに叫ぶ「サーッ」、陸上ハンマー投げの室伏広治選手が投擲するときに叫ぶ「ンッガーーッ」のようなプリミティブな「声」。

彼ら彼女らは、「声」を使うことで「相手にインパクトを与える」、「心身をリラックスする」、「筋のパワーを促進・制御する」、「身体のタイミングを調整する」など、さまざまな力を「ここ一番」のシーンで発揮しています。私は、一般的な言葉の定義に当てはまらないような「言葉」に強い可能性があると思っています。「サーッ」や「ガーッ」などの原始的な声には、人間が歴史、社会文化、風土とともに培ってきた生き抜くための知恵や潜在的なパワーを感じます。

そこで、本講演では先述されたような「声」を、日常生活や職場の人間関係などの「ちょっとした、うまくいかない場面に活用してみたら、もっと毎日が豊かになります」ということを、多数の事例を挙げながら明示していきます。

一例としては、次のような声があります。

- ・「ニーッ」は、印象をよくし、溜まったストレスを解消する際に効果的。
- ・「ワーッ↑」は、うれしい気持ち、楽しい気持ちを表現する際に有効。
- ・「ギューッ・パッ」は、こった身体をほぐす際に効果的。
- ・「スー・ハー・シャーッ！」は、ここ一番の緊張を解く際に有効。
- ・「スー・グッ・ハー」は、抑えきれない怒りを鎮静する際に有用。

口に出すだけ、心の中でぶつぶつと唱えるだけで、私たちの様々な活動に応用が可能になります。

講演終了後に、「私も声をだしてみよう！」と言っていただける方が一人でも多くいたら幸いです。

【講師紹介】

藤野 良 孝 (ふじの・よしたか)

オノマトペ研究家・会話評論家・コメンテーター

朝日大学経営学部准教授

早稲田大学国際情報通信研究センター招聘研究員

スポーツ言語学会理事

【略 歴】

1977年東京都生まれ。2004年3月早稲田大学理工学術院国際情報通信研究科修了、2007年3月国立大学法人総合研究大学院大学文化科学研究科修了（博士号取得）、2007年4月独立行政法人メディア教育開発センター入社研究開発部助教、東京田中短期大学こども学科非常勤講師、2010年4月朝日大学経営学部ビジネス企画学科助教、2011年4月朝日大学経営学部ビジネス企画学科准教授、2011年4月早稲田大学国際情報通信研究センター招聘研究員・早稲田大学ことばの科学研究所研究員、2014年9月スポーツ言語学会理事。現在に至る。

【著書・監修など】

『スポーツオノマトペーなぜ一流選手は「声」を出すのか』（小学館）、『「一流」が使う魔法の言葉ースポーツオノマトペで毎日がワクワク!』（祥伝社）、『脳と体の動きが一変する 秘密の「かけ声」』（青春出版社）、『子どもがグングン伸びる魔法の言葉』（祥伝社）、『ゼラチンふりかけ健康レシピ 浜内千波・藤野良孝』（扶桑社）、『よっこらしょ：かんきょうかがくえほん』（学研教育出版）、『子どもが伸びる魔法の言葉かけ:edu エデュー』（小学館） その他、ムック書籍、教育雑誌などの寄稿・監修など多数。

【メディア活動】

調査・実験で発見したオノマトペの効果について、フジテレビ「めざましテレビ」「ホンマでっかTV!」、フジテレビ「ごきげんよう」、テレビ東京「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ!」、日本テレビ「ZIP!」、NHK 総合テレビ「ためしてガッテン」、NHK Eテレ「大!天才てれびくん」、NHK Eテレ「Rの法則」、NHK 総合テレビ「マサカメTV」、NHK 総合テレビ「首都圏ネットワーク」、TBS「100秒博士アカデミー」、中京テレビ「キャッチ」、東海テレビ「スイッチ」、J-WAVE「ラジペディア」、文化放送「ドコモ団塊倶楽部」、朝日新聞社、ベネッセコーポレーション「進研ゼミ」・「マイスタイル」、新潮社「新潮45 達人対談 藤野良孝 vs. ビートたけし」、プレジデント社『素晴らしい一日の「元気になる☆魔法の言葉オノマトペ」連載』など、多数のメディアで解説している。



義歯製作の臨床的ガイドライン

～臨床総義歯学・I O Dの咬合～

(公社)日本歯科技工士会生涯研修認定講師

佐藤補綴研究室 佐藤 幸司
(BPS認定・ラボセンター)

近年、歯科医療の発展と共に歯科技工を取り巻く環境も変革期にあります。一方歯科技工士法では、歯科技工所における構造設備基準のガイドラインが平成25年4月1日より一部省令改正の施行となりました。臨床総義歯学も超高齢者時代を迎え、無歯顎者の総義歯製作法も臨床的根拠のあるエビデンスを求めたより客観的な臨床術式が求められています。

そこで平成27年2月22日(日)愛知県歯科医学大会の(一社)愛知県歯科技工士会企画講演(前半の部)では、世界の医療先進国においてBPSの補綴的ガイドラインがグローバルスタンダード的な臨床術式と成ってきている。その臨床的補綴システムを総義歯製作から(クラウン&ブリッジ・パーシャルデンチャー・コンプリートデンチャー・インプラントオーバーデンチャー)にも臨床応用ができるガイドラインを考察したいと考えています。

従来法より客観的で症例に応じた人工歯排列のガイドラインとなる仮想咬合平面(咬合彎曲)の設定基準と咬合様式を力学的、生理学的に考察する予定です。そこで症例別に異なる歯槽軸(Axis)に調和した人工歯排列と歯肉形成術を考察し、口腔周囲の生理学的粘膜組織とインデックス解析から生体に調和する軸面形態について考察できればと考えています。

重合法では残留モノマーの少ない品質管理による最新の重合システムについても考察したい。現在、欧米の歯科大学・歯学部でも総義歯臨床学・インプラント臨床補綴学における上部構造の技工・有歯顎および無歯顎補綴のガイドラインとして採用されている新しい補綴技工の考え方についてご紹介する予定です。

また(後半の部)では、若手歯科医師一名と若手歯科技工士2名の先生方と共に、デモンストレーションをライブで、概形印象から得られた概形模型を考察し、臨床的根拠に基づいた患者固有の個人トレーの外形線をランドマークして頂き、より客観的な模型解析についてディスカッションし、総義歯の臨床的ポイントについて時間の許す限りご参加戴いた皆様と共に考察出来れば幸いです。本講演会が実り有る企画講演になればと考えています。

略歴

- 1975年 大分県歯科技術専門学校卒業
霞が関歯科ポストグラジュエートセンター補綴学コースで学ぶ
納富哲夫先生に師事
- 1978年 臨床歯科ポストグラジュエートセンター・安部歯科医院勤務
- 1985年 佐藤補綴研究室（名古屋市開業）現在に至る
- 1988年 イエテボリ大学・ブローネマルク・インプラントコース受講修了
- 1990年 名古屋市立大学医学部解剖学 I 講座・研究員（在籍16年）

現在（役職）

- （♂）日本歯科技工士会・生涯研修認定講師
東海歯科医療専門学校・非常勤講師
愛知医科大学病院歯科口腔外科・非常勤歯科技工士
イボクラール・ビバデント・BPS 公認国際インストラクター
明倫短期大学・臨床教授
名古屋歯科医療専門学校・非常勤講師
（国立大学法人）大阪大学歯学部付属病院・招聘教員

（著 書）

- 『効率的な総義歯製作の技法』（共著・1998年 第一出版）
『初心者のための総義歯製作法』（共著・1999年 クインテッセンス出版）
『下顎吸着義歯 BPS パーフェクトマニュアル』（共著2011年クインテッセンス出版）
（日本語版；英語版；韓国版；中国語版）
『技工に強くなる本』上下巻（共著・2012年 クインテッセンス出版）

（論 文）

- 臨床技工；困った問題解決講座（総義歯編）20カ月間連載（2007年～2008年）
クインテッセンス出版・人工臓器としての総義歯製作4つのポイント・エビデンスに基づいた知識と技術（2011年冬号～4回連載）ZERO 永末書店出版
歯冠修復にも必ず役に立つ「咬合平面」の考察と決定法
（2014年1月号・2月号）QDT・クインテッセンス出版
力学的・生理学的観点に基づく人工歯排列のガイドライン
（2014年4月号・8月号連載）歯科技工・医歯薬出版
総義歯臨床に求められる臨床歯科技工学・対談（2014年夏号）ZERO・永末書店

①12:30~13:15 クロスフィールド(株)

予防歯科先進国スウェーデンの歯科衛生士事情と、スウェーデン発テベ製品のご紹介

クロスフィールド(株) 歯科衛生士 小林 亜子

“病気を治すことは重要な仕事です。でも、病気を予防することはさらに重要で、素晴らしい仕事です。皆さんにはその能力があります。これからは誇りをもって、歯科衛生士の仕事に携わっていきましょう。”—これは、スウェーデンの歯科衛生士さんから日本の歯科衛生士さんへの講演での締めくくりのメッセージでした。

現在では予防歯科先進国として名高いスウェーデンですが、1970年代のスウェーデンでは多くの国民が虫歯や歯周病に悩まされていました。しかし、その後の約30年間、スウェーデンでは国をあげて予防歯科プログラムに取り組み、現在では確実に良い結果を出しています。その予防歯科プログラムに深く関わってきたのが、歯科衛生士の働きと、そしてスウェーデン生まれの高品質な口腔ケア製品、テベです。

テベの製品は予防歯科先進国であるスウェーデンの大学をはじめとして、世界の歯科医師・歯科衛生士の協力のもとで作られており、機能性に優れています。また、北欧生まれならではのデザイン性の高さや、環境に優しいこともテベ製品の特長です。

このミニセミナーでは、スウェーデンの予防歯科事情とあわせて、スウェーデンの予防歯科の歴史と深く関わってきたテベ社製品を、症例写真なども交えながらご紹介いたします。サンプルもご用意させていただきますので、手に取り確かめていただきたいと思います。

②13:15~14:00 チョーワ(株)

スイングウェッジ・アタッチメント前歯用追加発売による適用範囲の拡大

弊社開発担当者 小川 善男

スイングウェッジ・アタッチメントは、健全な歯牙を傷つけず、いかにして義歯を安定させるかという課題から生まれた新しいタイプの「義歯用アタッチメント」です。クラスプの様に、金属の弾性を利用して歯牙のアンダーカットに入れ、把持力で義歯を維持安定させる手法は、現在も義歯設計の基本です。しかしながら、着脱時に鉤歯に加わる不必要な力や、維持安定を計る為に付けたクラスプは数が増えれば増えるほど、患者さんにとって扱いづらい物になって行くという現実があります。

- ① 義歯着脱時に鉤歯に負担がかからない。
- ② 前歯用の追加発売で、総義歯から一本義歯に至るまで活用できるようになった。
- ③ 維持装置はどんな場合でも2箇所以上必要としない。
- ④ 後遺症等で体に障害を持つ方にも、着脱の容易な義歯設計が提案できる。
- ⑤ 審美的要件を満たしている。
- ⑥ 低コストでメンテナンスが容易であり、長期間使用できる。
- ⑦ 製作が容易である。更に作りやすくなりました。
- ⑧ 樹脂等の弾性を利用した義歯に見られる弾性疲労による破断等の心配がない。

以上8つの項目が挙げられます。

③14:00~14:45 (株)松風

スタンダードプリコーションの概念と応用 ~新しい高水準消毒剤 DISOPA* について~

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ASP ジャパンデンタルセールス&マーケティング 南條 隆

近年の著しい科学技術の進歩発展は医療の内容を大きく変貌させ、多種多様な医療機器・器具を用いる診療が広く行われるようになりました。このような状況の中、院内感染防止対策の重要性は年々増えています。中でも、スタンダードプリコーションの概念は、医療従事者にとって必須であり、院内感染対策の鍵となる考え方です。講演では、その概念のポイントに触れながら、日々臨床で使用する消毒剤の概要と、特に器具/機器用高水準消毒剤であるフタラール製剤 (DISOPA*) の特長等を簡単にご説明させていただきます。

DISOPA (フタラール製剤) は新有効成分フタラールを0.55%含有する製剤で、海外では“CIDEX OPA”という販売名で1999年より米国をはじめ世界36か国以上にて販売されている高水準消毒剤です。医療現場で汎用されているグルタルアル製剤と比べ、優れた殺菌効果と安全性を持つ次世代の消毒剤として2002年発売以来、日本においても広くご使用いただいております。また、厚生労働省労働基準局長通知：【医療機関におけるグルタルアルデヒドによる労働者の健康障害防止対策 (平成17年2月24日 貴発第0224008号)】の中で、グルタルアルデヒドの代替品として紹介されています。

④14:45~15:30 パナソニックデンタル(株)

これからのCAD/CAM 技工と審美修復

有限会社アートセラミック 代表取締役 杉山 雅和

近年、CAD/CAMを中心とした歯科技工分野でのデジタル化は急速に広がっている。

一方、普及とともに従来のクローズド中心のシステムからCAD/CAMのオープン化、また、CAD/CAM レジン冠の保険収載もあり、機器システムと材料とのオープン化も促進されている。

2007年、最初のCADの導入から現在に至るまで、複数メーカーのCADおよびCAMを導入している。本講演では自らの経験に基づき、各社CAD/CAMシステムの特徴、また、補綴設計におけるCADソフトやミリング加工の際のCAMソフトの特長、ジルコニアを用いた際の審美修復のポイント等の技工における様々な課題と臨床応用について発表させて頂く。また、デジタル技工の将来について、口腔内ダイレクトスキャン (ODS) や3Dプリンター等の次世代の機器や新素材についての展望を報告する。

⑤15:30~16:15 (株)ビーブランド・メディコーデンタル

う蝕予防に効果的なフッ化物応用

医療情報推進部 歯科衛生士 遠藤 美枝子

現在フッ化物製剤はう蝕予防に広く応用されておりますが、う蝕予防にフッ化物が応用され始めたのが1940年代の半ば頃からです。

また、フッ化物は海水や食品など自然界に存在しており、人間の体内や唾液中にも存在しております。しかし、現在の日本では日常飲料水や、食事などを摂取しているだけではう蝕予防、歯の再石灰化に必要なフッ素濃度とはなりません。そこで、フッ化物を使用した予防が必要となります。

ご存知の様に、フッ化物製剤は配合濃度によって使用方法が異なり、歯科クリニックにおいて歯科医師の指示の下、歯科衛生士が使用(指導)する医療用医薬品の歯面塗布剤や洗口剤があります。また、患者がホームケアで手軽に使用できる医薬部外品の歯磨剤については、適正な使用方法を指導することによってより効果を高めることが期待できます。

高齢社会で、健康を維持することは食べられる口を保つこととも言われております。高齢者の根面カリエスの予防にもフッ化物応用が有用とされておりますので、子どもだけでなく成人のう蝕予防へ積極的にフッ化物応用をされることをお勧めいたします。

⑥16:15~17:00 長田電機工業(株)

SAFで変わるあなたの根管治療

富永歯科クリニック PIO 長崎ペリオ・インプラントセンター 富永 尚宏

今までの根管拡大・形成の概念を全く変えた最新システム、SAF (Self Adjusting File) システムが登場しました。SAFは網目構造のニッケルチタン製の空洞ファイルです。

根管壁に過不足なくフィットすることにより、3次元的な根管形態を維持したまま、最小限の根管象牙質に対する機械的侵襲で根管拡大・形成を可能にしました。SAFの登場は本当の意味での3次元的根管拡大・形成を現実のものとししました。まさに“あったらいいな”が形になったファイルです。しかし、最大限にSAFの威力を発揮するためにはその正しい使用方法をマスターすることが必要です。かといって、難しいものではありません。SAFはグローバル化されたデザインですので、動かし方を知って、少しトレーニングすることで誰でも一様に安全に使用することができるようになります。

この画期的なSAFシステムをご紹介するに当たり、その理論と使用方法について症例を交えながら解説いたします。

- ・複雑な根管形態である槌状根管においても効率的な根管形成と根管洗浄を同時に行うことが出来ます。
- ・回転して切削するロータリーファイルとは異なり、SAFは上下運動によって切削します。
- ・やすり状の表面が徐々に根管壁を切削するため、根管にかかる負荷が小さく、マイクロクラックを防ぎます。

SAFでより良い根管治療を。より高い成功率・安全性を。

⑦17:00~17:45 クラレノリタケデンタル(株)

最新ハイブリッド系CAD/CAM冠をマスターするための実践テクニック

東京都開業 加藤 正治

保険導入されたCAD/CAM冠については、これまでも脱離や破折等のケースが多々報告されており、臨床テクニック上の問題が成績に大きく影響することが指摘されています。CAD/CAM冠がメタルフリーの提案として成功するか否かは自由診療や医院の評価にも反映すると言っても過言ではありません。症例選択から形成、技工行程、装着までメタルクラウンとはまったく異なる感覚で取り組む必要があるでしょう。

このたび、ジルコニアのCAD/CAMシステムとして定評のあるカタナシステムにあらたにハイブリッド系レジンブロック「カタナアベンシア」が登場しました。「カタナアベンシア」はハイブリッド系レジンブロックのなかでも高い物性と自然な色調を有し、強度と審美性のバランスのとれたメタルフリークラウン製作が可能となりました。しかし要件をすべて満たして製作されたCAD/CAM冠であっても、最終的にその成功の鍵を握るのは接着操作であるといわれています。

そこで本講演では、チェアサイドでの臨床テクニック、ラボサイドでのデザイン、さらにCAD/CAMのメリットを最大限に活かすためのラボとのコミュニケーションの取り方などを中心にアベンシアクラウンを成功に導くための必須ポイントをお伝えしたいと思います。

主な講演内容

- ・ハイブリッド系CAD/CAM冠の形成のポイント
- ・レジンセメントの選択と接着操作
- ・ラボとの3Dコミュニケーション

⑧17:45~18:30 ウエルテック(株)

インプラント周囲病変を防ぐケア製品 —ジェルコートIPの活用—

ウエルテック(株) メディカルサポートセンター 歯科衛生士 永見 博子

インプラント治療の増加に伴い、インプラント周囲病変の罹患率は、約6割にも言われています。インプラント周囲病変を予防するために、患者さんご自身のホームケアは欠かせません。インプラントを装着されている患者さんに、今、どのようなホームケア製品をお勧めされていますか？2014年9月、コンクールブランドから、インプラント患者さんのための菌みがき剤「ジェルコートIP」を発売致しました。

この「ジェルコートIP」について、下記内容をご紹介します。

- ・開発背景
- ・製品の特徴(配合成分など)
- ・患者さんへの推奨方法
- ・プロフェッショナルケアでの活用方法など

すぐにご診療の中で試していただけるよう、サンプルもご用意しております。インプラントの治療、メンテナンスを行っていらっしゃる先生方、歯科衛生士様はもちろん、インプラント治療事体を行っていないという歯科医院様でも、メンテナンスにインプラント患者さんがいらっしゃる事が考えられます。患者さんのためにも、知っておくべき知識のひとつとして、ご紹介させていただきます。ぜひご参加ください。

①10:00~10:45 (株)クエスト

DORA/WAXYによる人材のリスクヘッジに関して

光 宗浩

技工士の置かれている状況は非常に厳しく、2012年度の就業歯科技工士数は34,613人に減少、特に20歳代の減少が多く、卒後5年以内の離職率は80%以上で低賃金・長時間労働が原因と言われている。

更に技工士学校の入学者数は最多時から54.5%まで減少し、歯科技工士の人材確保は今後、一層困難な状況に陥ると予想され、労働集約型である同業においては致命的である。

一方、工業界での労働負荷は機械化、コンピュータ化によって軽減されたが歯科技工においては精度の問題があったのが、近年は十分な精度と安定性を確保できる状況になった。只、コンピュータ化は自費診療を中心に展開されており、日本の歯科技工の90%以上を占める保険技工物製作の機械化は依然として進んでいなかった。

DORA/WAXYは日本の90%以上を占める保険技工物製をターゲットに開発されており、ワックスアップを機械化する事でロストワックス法が主流である保険技工物での労働負荷の改善が可能な機器と捉えている。

特徴としては高速スキャンと日本語化されたソフトにより直感的な操作、世界最速のワックス加工速度が可能なオープンCAD/CAMシステムである。

実際に導入されたラボ様での活用状況を紹介すると共に平成26年度診療報酬改定で保険収載されたCAD/CAM冠にも対応し、収益性も増した同機器での有用性を提案したい。

②10:45~11:30 (株)モモセ歯科商会

2015年 アメリカ発 歯周治療

フリーランス歯科衛生士 加藤 久子

歯周病患者の処置をいかに効果的かつ効率的に行うかによって、患者の負担も変わってきます。

その為には古い情報にとらわれず、私たちが向上しなければなりません。今回は、歯科衛生士が行う歯周治療、SRP、メンテナンスの方法を、アメリカでの最新情報を交えてお話をさせていただきます。

③11:30~12:15 (株)日本歯科商社

歯科における感染対策と器材の正しい洗浄・消毒・滅菌

愛知県厚生連 海南病院 感染制御部 感染制御室 感染制御課長 島崎 豊

歯科領域において問題となる病原微生物には、HBV (B型肝炎ウイルス)・HCV (C型肝炎ウイルス)・HIV (ヒト免疫不全ウイルス) などがある。

歯科領域では外科的処置が多く、医療従事者はタービンによる切削や超音波スケーラーの使用などによって、患者の血液や膿が混入した唾液などの感染性物質に触れることや飛沫を浴びる危険性が常にある。さらに、治療に使用する多くの医療器具は患者の口腔内の感染性物質に触れることから、医療従事者と患者ともに感染リスクが高いことが指摘されている。

外来患者の感染症検査を実施することは稀であり、問診では自覚症状のないHBV・HCV・HIVなどの感染症患者を見逃すことがあり、歯科領域では一般の医療施設以上に正しい感染対策を実践することが要求されている。

感染対策を実施するためには、手指消毒や手洗い等の手指衛生の遵守、個人防護具の着用、医療器具の洗浄・消毒・滅菌などの適切な再生処理、環境衛生、針刺し対策などの基本的な感染対策を徹底することが重要である。今回の講演会では歯科領域で要求されている感染対策について解説する。

なお、本セミナーの受講者には医療法施行規則における施設外研修として受講証を発行いたします。

④12:15~13:30 (株)ヒョーロン・パブリッシャーズ

歯内療法成功への道 ―エンドが楽しくなる臨床根管解剖のすすめ―

大阪府吹田市開業(医療法人豊永会きのもと歯科)

大阪大学大学院歯学研究科臨床教授 木ノ本 喜史

もし、はじめて訪れた都市を地図なしで歩いたらどうなるでしょう。道に迷うことは間違いありません。でも地図があればある程度は目安がつくのではないのでしょうか。

歯内療法は通常、目に見えない根管に対して操作を行うため難しいものです。その根管に対して地図とも言える根管の解剖学的特徴を理解することで、難しく感じられていた根管治療が変わります。ただし、根管は個体差が大きいので、地図は1種類ではなく、いくつかのパターンを理解しておく必要があります。しかし、人間の歯は智歯を除けば上下で14の歯種しかないわけで、無限のパターンを覚えることを要求されるわけではありません。

系統立てて解説した書籍を参考にして、毎日の臨床で出会う根管の形態を書籍上の分類と結びつけていくことにより、頻度の少ない解剖学的特徴を有する歯に遭遇したときも対処が可能になります。地図が頭に入れば、どこかが違うことに早めに気づくことが可能になるからです。もちろん、頻繁に経験する根管は目をつぶっても大丈夫なような状態になることが望ましいです。

また、根管解剖を理解して適切な器具操作を行うことにより、ジップやレッジなどのトランスポートーションや穿孔などの偶発症の回避につながります。街でも道に慣れれば、危険な箇所がわかってくるのと同じです。

今回は、エンドが楽しくなる臨床根管解剖の世界をわかりやすく解説致します。

愛知県医学大会 ワークショップ

(一社)愛知県歯科医師会

「外来環」コーナー 「パノラマX線写真による骨粗しょう症の医療連携」コーナー
 「愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度 (マウスガード)」更新用単位取得コーナー
 「エピペン使用医師登録」コーナー 「滅菌・消毒」コーナー
 「地域保健部II」コーナー 「防災対策」コーナー

(一社)愛知県歯科技工士会

「テーブルクリニック」「ポスタープレゼンテーション」
 「(一社)愛知県歯科技工士会学術大会カービングコンテスト優秀作品展示」

(公社)愛知県歯科衛生士会

第9回 (公社)愛知県歯科衛生士会学術大会「会員研究ポスター発表」

東海歯科用品商協同組合企画講演

- 12:30 ①クロスフィールド(株)「予防歯科先進国スウェーデンの歯科衛生士事情と、スウェーデン発テペ製品のご紹介」
 13:15 ②チョーワ(株)「スイングウェッジ・アタッチメント前歯用追加発売による適用範囲の拡大」
 14:00 ③(株)松風「スタンダードプリコーションの概念と応用 ~新しい高水準消毒剤 DISOPA*について~」
 14:45 ④パナソニックデンタル(株)「これからのCAD / CAM 技工と審美修復」
 15:30 ⑤(株)ビーブランド・メディコーデンタル「う蝕予防に効果的なフッ化物応用」
 16:15 ⑥長田電機工業(株)「SAF で変わるあなたの根管治療」
 17:00 ⑦クラレノリタケデンタル(株)「最新ハイブリッド系CAD/CAM 冠をマスターするための実践テクニック」
 17:45 ⑧ウエルテック(株)「インプラント周囲病変を防ぐケア製品 ―ジェルコート IP の活用―」

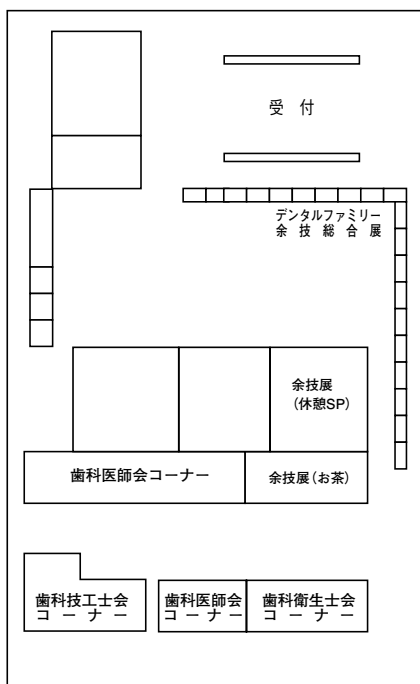
中部日本デンタルショー

「歯科に関する本なんでもコーナー」

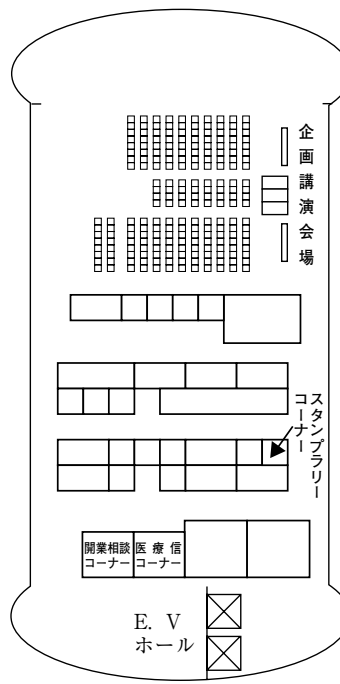
- ①(株)日本歯科新聞社 ②クインテッセンス出版(株) ③わかば出版(株)
 ④(株)デンタルダイヤモンド社 ⑤(株)ヒョーロン・パブリッシャーズ ⑥(株)永末書店
 ⑦東京臨床出版(株) ⑧(有)医学情報社 ⑨(一財)口腔保健協会 ⑩医歯薬出版(株)

配置図

2階 第1ファッション展示場



3階 第2ファッション展示場



愛知県歯科医学大会 ワークショップ

(一社)愛知県歯科医師会

- 「外来環」コーナー 「パノラマX線写真による骨粗しょう症の医療連携」コーナー
- 「愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度(マウスガード)」更新用単位取得コーナー
- 「エピペン使用医師登録」コーナー 「滅菌・消毒」コーナー
- 「地域保健部II」コーナー 「防災対策」コーナー

(一社)愛知県歯科技工士会

- 「テーブルクリニック」「ポスタープレゼンテーション」
- 「(一社)愛知県歯科技工士会学術大会カービングコンテスト優秀作品展示」

(公社)愛知県歯科衛生士会

- 第9回(公社)愛知県歯科衛生士会学術大会「会員研究ポスター発表」

東海歯科用品商協同組合企画講演

- 10:00 ①(株)クエスト「DORA/WAXYによる人材のリスクヘッジに関して」
- 10:45 ②(株)モモセ歯科商会「2015年 アメリカ発 歯周治療」
- 11:30 ③(株)日本歯科商社「歯科における感染対策と器材の正しい洗浄・消毒・滅菌」
- 12:15 ④(株)ヒョーロン・パブリッシャーズ「歯内療法成功への道 ―エンドが楽しくなる臨床根管解剖のすすめ―」

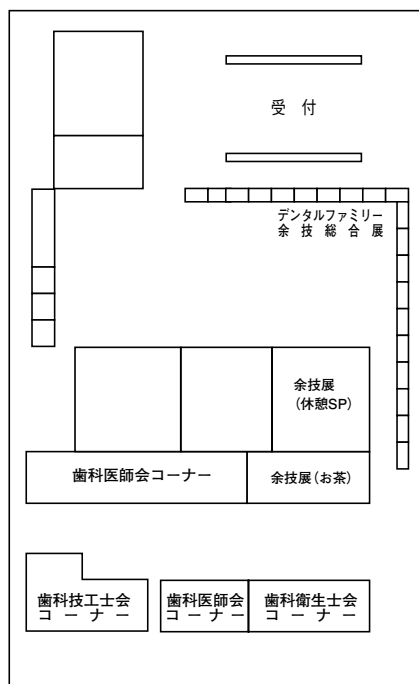
中部日本デンタルショー

「歯科に関する本なんでもコーナー」

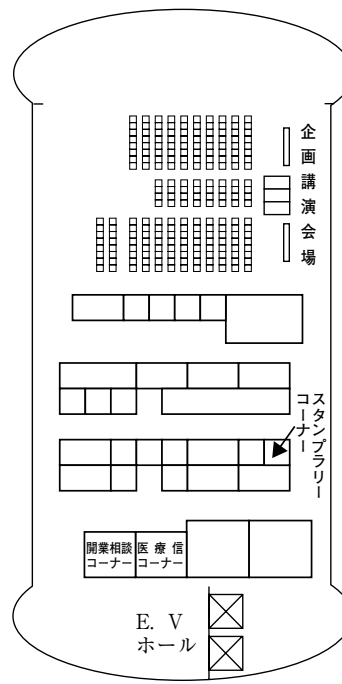
- ①(株)日本歯科新聞社 ②クインテッセンス出版(株) ③わかば出版(株)
- ④(株)デンタルダイヤモンド社 ⑤(株)ヒョーロン・パブリッシャーズ ⑥(株)永末書店
- ⑦東京臨床出版(株) ⑧(有)医学情報社 ⑨(一財)口腔保健協会 ⑩医歯薬出版(株)

配置図

2階 第1ファッション展示場



3階 第2ファッション展示場



「外来環」コーナー 共催：(株)東京技研・(株)アクロス

歯科外来診療環境体制加算（外来環）は日常臨床の場で起こりうる突発的な緊急の事態に備え、ハード面（設備や機材）ソフト面（スタッフ）を整備する事で、患者さんにより安全でより良い治療を受けていただく事を目的としています。

現在愛知県歯科医師会においては、3,331の歯科医療機関のうち464件（12.2%）の医院が外来環を算定しており、更に多くの医院で外来環の環境を整えていただきたいと考えております。そこで本年度は外来環を算定するために必要な機材の中で、特に口腔外バキュームが障壁となっているケースが多い事から、導入の比較的容易な移動式の口腔外バキュームの紹介をいたします。

「パノラマX線写真による骨粗しょう症の医療連携」コーナー

わが国における骨粗しょう症患者数は約1,300万人と推定されています。

骨粗しょう症の80%は女性であり、50歳以降は閉経後骨粗しょう症が急増しますが、大部分の方が無自覚のまま、骨折の危険のある状態で生活しているといわれています。

近年、歯科で撮影されるパノラマX線写真は、特に50歳以降の女性における骨粗しょう症性骨折の危険を知る手段として有用であることが判ってきました。

愛知県歯科医師会の「骨粗しょう症対策医科歯科連携事業」は、愛知県行政から補助金事業の指定を受けており、特に骨粗しょう症のリスクの高い女性を、医科において早期に診断いただき、骨粗しょう症による骨折を未然に防ぐためのものです。

現在、協力歯科医院は県内に約1,630あり、整形外科、内科、婦人科、外科等の協力医療機関（約1,120）との間で医療連携を実施しています。

「愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度（マウスガード）」

更新用単位取得コーナー

平成25年度から「日本体育協会公認スポーツデンティスト」養成コースが始まり、講習カリキュラムの中にもマウスガードに関する講義・実習に多くの時間が割かれています。今後、スポーツデンティストを目指す上でも、重要なポイントと言えます。

マウスガード認定登録歯科医が認定登録を更新するために、2年の間に下記①～④の中から12単位以上取得し申請をすることにより更新していく制度の、②「歯科医学大会において、ビデオ・DVD専用ブースでの研修5単位」を実施いたします。

本会が企画いたしますビデオ・DVD研修は歯科医学大会のみでございますので、認定登録歯科医の方は是非お立寄り下さい。

- ①愛知県歯科医師会主催のスポーツデンティスト講習会（旧：マウスガード認定登録歯科医研修会アドバンスコース）の受講
7単位（年1回、2年間で1回は受講の義務あり）
- ②歯科医学大会において、ビデオ・DVD専用ブースでの研修
5単位（専用ブースで印もしくは参加証明書を配布いたします）
- ③マウスガード製作実績報告書の提出
1ケースにつき2単位、3ケースを上限とする
- ④愛知県歯科医師会が認める歯科医師会主催以外の関連研修会・講習会への参加
1時間で4単位（参加証明書のコピーの提出）

「エピペン使用医師登録」コーナー

共催：ファイザー(株)

近年、食物アレルギーによってアナフィラキシーを引き起こし、場合によっては死亡に至る事例等が問題となっています。歯科におきましても、歯科診療中に使用した医薬品によりアナフィラキシーショックが発症した事例が報告されております。

このような報告から、現状では万一診療中にアナフィラキシーショックが発症した時の緊急対応ができる診療体制の確保が急務で、救急搬送までの補助治療としてアドレナリン注射液エピペンの有用性が検討されています。

エピペンは、厚生労働省の承認の条件として「使用医師登録」の講習を受講頂いた先生が使用可能な薬剤です。本ブースでは、使用医師登録講習を実施しております。先生方の診療中における緊急時対応確保の一助として頂ければ幸いです。

「滅菌・消毒」コーナー

共催：(株)GC

昨今、TVや新聞、雑誌などにより、院内感染に関する情報を容易に目にすることが出来るようになったことで、患者さんの「医療の安全」に対する意識が高まっています。それゆえに歯科医療現場においてインфекションコントロール（感染管理）を的確に実践する必要性が求められています。

インフェクションコントロールの重要な要素である院内感染拡大の防止を実践するには、歯科院内でのゾーニング（不潔域・清潔域・滅菌域の設定）を行う必要があります。そこで今回は株式会社GCの協賛により、実際に使用する機械・器具を用いて防疫室でのゾーニングの一例をご紹介します。

「地域保健部Ⅱ」コーナー

地域保健部Ⅱでは、県民に対する福祉事業として、超高齢社会に対応するため高齢者歯科対策事業を実施、また、愛知歯科医療センターにおける障害者歯科診療とともに協力医の指導・教育を行っている。また、県下の郡市区の歯科医療センターと総合的な機能連携を行っています。今回以下の4題について報告します。

地域医療再生基金調査研究事業の結果から見た在宅歯科医療への提言

愛知県歯科医師会では平成22年から平成25年までの4年間にわたり地域医療再生基金調査研究事業を実施しました。また、在宅歯科医療における口腔外科医との連携に関するアンケート調査も全会員に対して実施しました。今回、在宅歯科医療連携システムについての提言をまとめました。

歯科医師会当県における障害者歯科医療連携について

— 「障がいのある低年齢児の早期歯科受診勧告ポスターの紹介」 —

医科との連携案から、障害のある低年齢児の早期歯科受診勧告について注目し、その啓発用ポスターを作製した。経緯について若干の考察を加えて報告する。

当県の障害者歯科認定協力医研修制度について

本研修制度をより効果的で充実したものにするため、これまでに行われた研修会を総括し、今後の研修会の内容（講義内容や講師の人選等）、研修制度の展望、方向性等の考察を行い検討を行った。

当歯科医療センター建て替え後の現状と患者動向について

老朽化に伴い会館の建て替えが行われ、平成24年10月から新センターが稼働した。今回移転後約1年6か月間で見えてきた新施設の現状と患者動向について報告する。

「防災対策」コーナー ～避難所での口腔ケア～

防災対策部 地域保健部Ⅰ・Ⅱ (公)愛知県歯科衛生士会

共催：サンスター(株)

平成7年に発生した阪神淡路大震災での震災関連死では肺炎によるものが最も多く、口腔ケア不足による誤嚥性肺炎が考えられると報告されています。この教訓をもとに、関係機関が努力した結果、平成16年に発生した新潟県中越地震、平成19年の新潟県中越沖地震では避難所等での口腔ケアを実践することで肺炎による死亡が減少したと言われております。防災対策部は南海トラフの巨大地震対策のひとつとして避難所での口腔ケアを考えてきましたが、今年度の愛知県・碧南市津波・地震防災訓練で、地域保健部の先生方と愛知県歯科衛生士会の協力を得て、初めて避難所での口腔ケアの訓練を行う事ができましたので、その様子を展示します。

第9回 (公社)愛知県歯科衛生士会学術大会 「会員研究ポスター発表」

本会では、歯科衛生士の資質向上を目的とし、研修事業を充実させ、数々の情報提供を行っております。この学術大会もそのひとつであり、今回第9回を企画することができました。会員相互の研鑽の場として、また、近年の歯科衛生士業務の多様化に伴い、社会の要望に対応できる歯科衛生士を目指す上で、自らの取り組みを発表致します。少しでも目標を立てて、未来を見つめることができる有意義な場にしたいと思っておりますので、多くの歯科衛生士にご参加いただければ幸いです。

記

- 発表 平成27年2月22日(日) 10:30~11:30
(予定のため発表時間は変更となることがあります)
- 会場 第1ファッション展示場ワークショップコーナー
- 発表者および演題(仮題)
 1. 「20年間、歯みがき習慣のなかった知的障がい者が、歯科保健習慣を獲得した一例」
佐藤 恵子
 2. 「矯正治療患者とその保護者に関するブラッシング習慣と意識の違い」
平野真美子
 3. 「口腔機能訓練の違いによる青年期成人唾液分泌量の変化」
斎藤あゆみ
 4. 「ファーストブラッシング Vo.1 ~0.6歳からのアプローチ~」
石井美智子
 5. 「中村日赤ふれ愛まつり」に参加した地域住民の口腔に関するアンケート調査
古橋 采奈

注) 発表の順番は記載通りではありません。

日本老年歯科学会等他学会発表ポスターの掲示も予定しています。

ポスターの掲示は、歯科医学大会期間中となります。

●要旨

1. 「20年間、歯みがき習慣のなかった知的障がい者が、歯科保健習慣を獲得した一例」

○佐藤恵子¹⁾

1) 佐藤歯科医院

本症例は軽度の知的障がいの20歳の男性患者で、主訴は知覚過敏であった。初診時は全く歯みがき習慣がなく、プラークが厚く付着していたが、患者とのラポールを確立したことにより、患者の口腔内への関心が高まり、それが歯科保健行動の変容につながった症例を報告する。

2. 「矯正治療患者とその保護者に関するブラッシング習慣と意識の違い」

○平野真美子¹⁾ 近藤高正¹⁾ 犬飼順子¹⁾ 向井正視¹⁾

1) 愛知学院大学短期大学部専攻科口腔保健学専攻

本研究は、歯科矯正治療を受けている子供とその保護者の歯磨き習慣について、質問用紙によるそれぞれの口腔清掃管理の関係を調査した。

3. 「口腔機能訓練の違いによる青年期成人唾液分泌量の変化」

○斎藤あゆみ¹⁾ 高阪利美¹⁾ 向井正視¹⁾

1) 愛知学院大学短期大学部専攻科口腔保健学専攻

構音・発声トレーニング、舌トレーニング、口唇トレーニングによる唾液分泌量の違いを明らかにし、口腔機能トレーニングと唾液分泌量との関係性を調べた。

4. 「ファーストブラッシング Vo.1 ～0.6歳からのアプローチ～」

○石井美智子¹⁾ 松田由子¹⁾ 作田弘美¹⁾ 山口ひさ子¹⁾ 宮川咲枝¹⁾ 山本雅代¹⁾

間瀬真由美¹⁾ 木村小百合¹⁾ 堀井枝美子¹⁾ 外山昭代¹⁾ 松岡 希¹⁾ 田原典子¹⁾

南波貴代¹⁾ 河田典雄²⁾

1) 愛知県歯科衛生士会・豊田三好支部

2) 豊田加茂歯科医師会

現在、豊田市から依頼され実施している口腔保健事業について、1歳6か月健診時にアンケート調査を実施し、より詳しく現状を把握したうえで各講座の内容の向上を図り、市内乳幼児の齲蝕罹患率の低下、生活習慣の向上など、豊田市母子保健事業に貢献することを目的とする。

アンケート調査は、豊田三好支部で、昨年度より、企画、検討、担当部署への依頼、協力を経て平成26年5月豊田市内315件の調査結果を報告する。

5. 「中村日赤ふれ愛まつり」に参加した地域住民の口腔に関するアンケート調査

○古橋采奈¹⁾ 中山桂子¹⁾ 日比野朋美¹⁾ 犬飼桂子¹⁾ 清水梨奈¹⁾ 佐久間英規¹⁾

大岩伊知郎¹⁾

1) 名古屋第一赤十字病院

当院で毎年開催されている地域住民との懇親を目的とした「中村日赤ふれ愛まつり」の一企画として、歯科衛生士のブースで行ったアンケート調査の結果と共に、口腔に関する関心事項などをまとめて報告する。

21日(土) 午後1時

口腔機能を理解した“機能する義歯”の形とは

(一社)愛知県歯科技工士会 山田 裕由

近年、CAD/CAMのめざましい進歩や材料の発展に伴い、より高精度、高品質な歯科補綴物が製作可能となってきているが、どんなに技術が発展しても変わらないものがある。それは、歯科補綴物は患者さんの口腔内で安定し、機能しなければならないことであり、その原理原則は変わらない。しかしながら、総義歯においては、口腔機能の動きに対して安定して機能することを模型上で確認することはほとんど不可能である。では、“機能する総義歯の形”とはどうすればわかるのか。日常臨床の中で、歯科医師や患者さんとのコミュニケーションの中で見てきたものを、自身の経験をもとにお話できればと思います。

22日(日) 午前10時30分

自身の考えるシェードテイキングの注意点とその目的

(一社)愛知県歯科技工士会 三浦 大輔

(日本歯科技工士会認定講師)

シェードテイクの行い方は歯科技工士によって様々な方法や考え方があり、それぞれ歯科技工士が色調を合わせ易いシェードテイクの方法が最良の方法であることは間違い無い。ただし、まだポーセレンワークの経験が浅い歯科技工士にとってシェードテイキングは、自身がそうであったように、非常に難しい仕事であると感じるのではないだろうか。講演では、ポーセレンワークの経験の浅い歯科技工士に向け、自身の考えるシェードテイクの基本的な注意点をまとめ、その全てに共通する“自身が欲しい適切な情報を得るための方法”を述べさせて頂きたい。また現在、歯科技工界で深刻な問題になっている“離職”についても述べさせて頂きたい。職人気質の強いと言われる調理師や美容師なども歯科技工士と同様に労働拘束時間が長い職業であると聞くが、決して若者に人気の無い職業ではないように感じる。当然、そもそもの職業としての知名度が高いこともあるが、労働拘束時間が長いことは、1つの理由として真っ先に挙がる。しかし、はたしてそれが本当に核となす理由であるのか疑問を感じる。本講演が少しでも明日への活力になれば幸甚である。

愛知県歯科医学大会 生涯研修事業取得可能単位数

各団体主催の講演会・ワークショップ等に参加されますと下記単位を取得することが出来ますので、振るってご参加下さい。各内容については該当ページをご参照下さい。

日本歯科医師会 特別研修に該当致します。(10単位)

【日本歯科医師会会員】 2月21日(土)

研修対象事業	研修コード	単位数	掲載ページ
「ワークショップ」 ・「外来環」コーナー	2401	1単位	P.28
・「骨粗しょう症」コーナー	2906	1単位	
・愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度(マウスガード) 更新用単位取得コーナー(DVD放映)	2704	1単位	
・「エピペン使用医師登録」コーナー	2403	1単位	P.29
・「滅菌・消毒」コーナー	2306	1単位	
・「地域保健部Ⅱ」コーナー	2804	1単位	
・「防災対策」コーナー	3101	1単位	
・愛知県歯科技工士会(ブース全体)	2207	2単位	P.32
・愛知県歯科衛生士会(ブース全体)	2599	2単位	P.30
「東海歯科用品商協同組合企画講演」	3001	1単位	P.20①
	3102	1単位	P.20②
	3199	1単位	P.20③
	2605	1単位	P.20④
	2105	1単位	P.21⑤
	2503	1単位	P.21⑥
	3101	1単位	P.21⑦
2799	1単位	P.21⑧	
「歯科に関する本なんでもコーナー」	2199	1単位	P.36
「中部日本デンタルショー」	3199	2単位	P.36

2月22日(日)

研修対象事業	研修コード	単位数	掲載ページ
「愛知県歯科医学大会特別講演」	2804	2単位	P.10
「愛知県歯科医師会企画講演」	2101	2単位	P.14
「愛知県歯科技工士会企画講演」	2606	2単位	P.20
「愛知県歯科衛生士会企画講演」	2804	2単位	P.18
「ワークショップ」 ・「外来環」コーナー	2401	1単位	P.28
・「骨粗しょう症」コーナー	2906	1単位	
・愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度(マウスガード) 更新用単位取得コーナー(DVD放映)	2704	1単位	
・「エピペン使用医師登録」コーナー	2403	1単位	P.29
・「滅菌・消毒」コーナー	2306	1単位	
・「地域保健部Ⅱ」コーナー	2804	1単位	
・「防災対策」コーナー	3002	1単位	
・愛知県歯科技工士会(ブース全体)	2207	2単位	P.32
・愛知県歯科衛生士会(ブース全体)	2599	2単位	P.30
「東海歯科用品商協同組合企画講演」	2699	1単位	P.22①
	2504	1単位	P.22②
	2306	1単位	P.22③
	2503	1単位	P.22④
「歯科に関する本なんでもコーナー」	2199	1単位	P.36
「中部日本デンタルショー」	3199	2単位	P.36

【愛知県歯科技工士会会員】

愛知県歯科技工士会生涯研修(自由課題)1日4単位に該当いたします。

【日本歯科衛生士会会員】

愛知県歯科衛生士会企画講演に受講された場合は、日衛の生涯研修制度に登録されます。

第29回デンタルファミリー余技総合展

を開催するにあたり



愛歯余技クラブ

会長 白井 暉 二

愛知県歯科医学大会・併設中部日本デンタルショーと同時に第29回デンタルファミリー余技総合展を開催いたします。この展覧会は歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、歯科助手、歯科材料商、教育機関、メーカー、その他歯科関係の皆様と家族の余技作品展覧会です。

余技は極めて幅広いもので、過去28回にわたり日本画、洋画、水墨画、俳画、書道、彫刻、写真、陶芸、工芸、手芸、生花、魚拓、盆石、盆栽、ドライフラワー、絵手紙、アートフラワー等を展覧してまいりました。昨年は八木昭大氏より「AGDAフィリピンボランティア活動の記録・お世話になった方々の肖像」の題名でパステル画を16枚展示し注目されました。

今年も忙しい合間に少しずつ製作した小品や時間をかけた大作まで多数の作品、そして学生の心温まる作品にも触れることでしょうか。出展者の様々な作品が、愛知県歯科医学大会・併設中部日本デンタルショーの会場に、一輪の華を添えることができ大変嬉しく思います。ご参加の皆様には、是非とも余技総合展コーナーにお立ち寄りご観覧下さい。

また2月22日(日曜日11:30~15:00)には茶席を設けますので皆様の「憩いの場、交流の場」としてご利用下さい。

第29回デンタルファミリー余技総合展を催すにあたりまして、今年度も多くの方々のご協力をいただきました。会場の設営をしていただきました東海歯科用品協同組合をはじめ、歯科医師会、歯科技工士会、歯科衛生士会、愛歯余技クラブ役員の皆様、そしてとりわけ出展者の皆様にこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。



八木昭大氏作品(平成26年)



名古屋市歯科衛生専門学校学生作品(平成26年)